

市政に関する一般質問の概要



新型コロナウイルス感染症の影響を受ける予算編成の考え方について

政進会 倉橋 正美

問 来年度以降、大きな税収減が見込まれますが、今後の税収の状況についてお伺いします。

答 (市長) : 来年度は類を見ないほどの税収減となることが想定されており、現在、予算編成前ではありますが、推計を進めているところです。

問 (理事兼財務部長) : 今年度、法人市民税の予定納税の還付が多く発生し、来年度はそれに加え、個人市民税も大幅に減額になると想定しています。予算編成前の推計値ですが、市税全体で20億円程度の税収減を想定しております。

問 年入の確保対策や歳出の削減について、現状どのように考へているのかお伺いします。

答 (市長) : 予算編成前の推計の段階で40億円近い歳入不足を想定しており、この歳入不足については、尋常な方法では埋めることができないのではないかと懸念しています。

歳入では、地方交付税不交付団体のみが活用できる市債を活用することや、公共施設の有料化などの受益者負担の適正化も検討していくことを考えております。

歳出では、それぞれの事業の見直しを行うとともに、補助事業に一部負担を導入することや補助額の引き下げなどを併せて検討していきたいと考えています。

問 約40億円の歳入不足のうち市税の減収が約20億円で、残りはどのようなものが考えられるかお伺いします。

答 (理事兼財務部長) : 近年伸び続けている扶助費や物件費などが引き続き伸びると考えます。歳入面では地方譲与税などが経済の影響から今後減額すると想定しています。

その他の質問

- ・市制施行5周年記念事業について
- ・避難所運営等の見直しについて

障がい者福祉計画について



いとうじの会 田中 ひろこ

まちづくり開発による農地減少の課題について



政進会 市川 洋一

問 障害者支援センターあきばには短期入所のための部屋があり、女性が利用すると男性が利用できない、精神障がいの方が申請してもなかなか使えないとの訴えがあります。9億円をかけて建てた施設をもっと有効に使えるよう今後の改善について伺います。

答 (保健福祉部次長) : 現在は、利用者への配慮として同性による介護や障がいの特性などを考慮した運用を行っています。今後も運用方法の検討や事業者にはスタッフの増員を働きかけたいと考えています。

問 総合福祉社会館のインターネットの環境が整備されていませんが、今後の整備の検討について伺います。

答 (保健福祉部次長) : インターネットの整備は市の担当部署と指定管理者と調整しながら検討していきます。

問 市内の精神障がいの方が居場所を月2回、30年近く開いていますが行政からの支援が全くありません。障がいがあるピアソporterへの支援の検討状況を伺います。

答 (保健福祉部次長) : 退院後のサポートなどでピアサポートが有効なことは承知しています。今後は先進事例を研究し、当事者団体とも相談しながら検討します。

問 福祉法人の設立は、来年11月の市制50周年にあわせてスタートと市長が示していますが、具体的な計画などが検討されていないと聞いています。法人の運営は誰がするのか。具体的にどういう事業をやるのか。利用者は3障がいなのか。運営スタッフの人事費はどうなるのか。市から補助金を出すのかなど分かる範囲で伺います。

問 一般保留地や市街化編入地域などの市内の雨水排水路や道路のインフラ整備の状況や考え方を伺います。

答 (まちづくり部長) : 排水路は、各地区の排水区ごとに整備計画を定め、浸水被害の多い箇所を中心に鋭意整備を進めています。中心市街地は、排水路下流域の河川整備などの影響を受けるので管理者である神奈川県と調整を図りながら進めたいと考えます。道路については道路交通マスタープランに基づいて、主要な幹線道路の整備を順次進めています。

その他の質問

- ・世界で活躍する農業者から学ぶこと

